

こころねっと



สวัสดีครับ
SAWADIKAP
Hello!



ウィリアム・グリフィスが見た福井



HOSOYA, Ryuhei (細谷 龍平 Japan)

国際地域学部特任教授

公益財団法人 日下部・グリフィス学術・文化交流基金理事長

皆さんは、福井を最初に見た時のことを覚えておられますか。おそらく、北陸自動車道が国道8号線から、大体予想していたような中規模の都市が目に入ってきて、その第一印象は期待以上だったか、以下だったか、いずれにしてもそれぞれに何か感じられたと思います。多分、福井で暮らし、学び、働いたあとでは、その第一印象よりはよほど福井を気に入られた方がこれを読んでいただいているものと思います。実は、150年前の今日、1871年3月4日は、福井藩がアメリカから教師として招いたウィリマス・グリフィスが福井に到着した日です。彼は、これまでに福井に住んだ外国人としてはおそらく最も福井を敬愛した人でした。その時、27歳のグリフィスが福井を最初に見た時の第一印象はどうであったか。

それをご紹介する前に、彼のことを簡単におさらいしますと、まずグリフィスは福井藩校の明新館で科学などを教え、福井に近代教育の礎を築きました。その後東京の南高（現在の東京大学）でも教えましたが、彼は福井で見出した日本の歴史文化の伝統を愛し、また福井人の優しさに触れて、11ヶ月後にここを去る時には「福井よ、あなたは幸福の泉だった」と述べています。グリフィスはアメリカに戻ったあと、生涯にわたる言論・文筆活動で日本の正しい姿を伝え続けました。中でも日本の歴史と、日本滞在記からなる代表作「ミカドズ・エンパイア」は日本に関する長年のベストセラーとして当時の世界が日本を理解する拠り所となりました。福井のことは、日記や家族への手紙で詳細に綴り、またミカドズ・エンパイアでは文学的表現豊かに書き記しています。



その3月4日についての記述では、前日に泊まった武生から、積雪の中を、横浜からの同行者、福井藩から事前に伏見や敦賀まで出迎えた役人、荷物を運ぶ人足など大勢の行列でやってきたグリフィスが、福井の町を最初に見た時の印象を次のように書いています（山下英一氏訳）。



中村が「あそこが福井です」と叫ぶと、突然、日の光がさし、福井の町の上空は黄金の光で満ちあふれた。あの突然はじめて町を目にした時の感動は生涯忘れないだろう。町は雪片を帯びた空気の中を、盆地の向こうにぼんやりと、樹木にこんもり囲まれ、嵐



雲にあたって反射した光の中に見えていた。金色の風見のある尖塔、どっしりした破風やファサード、また西洋世界の都市を見た時のような目をひく大きな建物などは全くなかった。アメリカですでに福井についていくら

か予想をたてていた。何か漠然としているがすばらしいもの、ぼんやりとしているが立派なものを。しかしそれが何かはわからなかった。そして今、見るのはただ黒っぽく広がる屋根の低い家、大きな寺院、切妻、天守閣、竹藪、それに森であった。これが福井であった。

これは、後で脚色を交えて書かれたものです。大きな使命感と期待を抱いて、何か分からないが素晴らしいものを予想して来た場所のこの光景。それは外見的には少なくとも西洋的な価値基準からは期待を裏切るものでした。しかしグリフィスの慧眼はそこに目には見えないが別の価値基準からは素晴らしいものがあることを見逃していません。このことを5年前はじめて福井に来た私は、グリフィスとの出会いによって学びました。今の150周年は、オンラインを含めてこの福井を世界に繋いでくれた人グリフィスの足跡を辿る事業を展開しています。次のサイトに是非立ち寄ってみてもらえれば幸いです。



福井へのジャーニー



Nurin Amira Binti Ahmad Remy (Malaysia)

工学部 電気電子情報工学科

私は福井大学の3年編入留学生です。実は、2020年3月に日本に来るはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で日本に入国できませんでした。このお知らせをもらった時はすごく悲しくなりました。いつ日本に行けるのかをいつも考えていましたが、私一人だけではなく他のマレーシアの留学生もみんな同じ状況でした。その結果、前期は休学することになって、6か月間ぐらいつつと家において、日本語の復習などをしていました。前期の授業を受けなかったため、卒業も遅くなります。

しかし、9月に大学からのメールが届いて、「マレーシア大使館より、10月1日には復学し、オンラインで授業を受けることになった旨、連絡を受けました」と書かれており、その時はほっとしました。やっと、授業を受けることができます。担当教員と福井大学にいる先輩の指導で履修登録ができました。

10月にオンライン授業が始まりました。日本とマレーシアの時差は一時間なので授業を受けるのは問題がありませんでした。そして、10月下旬、マレーシア大使館からお知らせがきて、10月22日にマレーシアで待機中の学生はみんな日本に行くことが決まりました。出発三日前にマレーシアの病院でPCR調査をしなければなりません。短期間で色々な準備をするのは大変でした。



マレーシアで飛行機に乗る前



PCR 調査を受ける前



成田空港に到着

私たち、マレーシア人留学生 156 人は、一緒に 10 月 22 日の朝 7 時半にマレーシアを出発して、午後 3 時ぐらいに成田空港に到着しました。成田空港に着いた時、最初に新型コロナウィルスの感染拡大の防止対策として唾液による PCR 検査を受けて、その検査の結果が出るのに 2 時間ぐらいかかりました。PCR 検査を受ける前に、番号をもらいました。自分がもらった番号が呼ばれるとすぐ PCR 検査の結果がもらえて、次はイミグレーションの手続きをして、在留カードをもらいました。

色々な手続きが済んだ後、やっと夜 8 時半ぐらいに空港の出口にたどり着きました。ついに日本に来たと感じました。飛行機で昼ご飯を食べましたが、到着してから何も食べていなかったのも、とても疲れました。そして、私たちは新型コロナウィルスの感染拡大防止対策で自主隔離しなければならなかったのも、マレーシア大使館が手配したバスで海外産業人材育成協会 (AOTS) の東京研修センターに行きました。東京研修センターで、すべての学生は 16 日間一人部屋に泊まりました。

東京研修センターに着いた時、部屋の鍵と晩ご飯をもらって、夜 11 時過ぎにやっと晩ご飯を食べられました。私の部屋は快適で、窓から東京スカイツリーが見えました。残念ながら、隔離中なので見ることはできませんでした。

毎日自分の体温を測ってフォームに書きました。もし、熱とかせきがあれば、すぐ学生の代表者に連絡しなければなりませんでした。食事はグループに分かれて、食堂で食べました。食堂ではテーブルに部屋番号が書いてありました。毎日食事がおいしかったです！食事の時には友達にも会えました。



テーブルは二人

自主隔離をしている時、もちろんオンライン授業もまだ続けていました。しかし、暇時には部屋にあるテレビを見たり、ゲームをしたりしました。寂しい時もあるので、そんなときは友達と一緒にオンラインでゲームやチャットなどをしました。マレーシアにいる家族ともビデオコールをしました。



食事の時

自主隔離の期間が終わった後、やっと福井に行くことができました。九州、四国と北海道に行く学生は

11月6日の朝、7時ぐらいにマレーシア大使館がアレンジしたバスで羽田空港に行きました。その後、残りの学生はグループに分かれて、東京駅に行きました。

福井に行く人は全部で7人で、一人は福井高専の学生、残り6人が福井大学の学生でした。東京駅から新幹線と電車を乗り継いで福井駅に着きました。福井駅で出迎えてくれた先輩たちに会って、福井市内を案内してくれました。そして、私は一週間ぐらい先輩のアパートに泊まりました。その時はとても忙しかったです。なぜかということ、授業ばかりではなく、市役所で色々な手続きがあったり、新しいアパ



ートに入る準備をしたり、銀行に行ったりしたからです。先輩たちが色々手伝ってくれてとても感謝しています。

今まで授業はオンラインで行われていますが、いい点と悪い点があります。よかったことは、パソコンとインターネットさえあれば勉強できることです。しかし、自分一人だけでパソコンの前で勉強するのは、ちょっと寂しいと思います。他の同級生とは、あまり話さないですから、顔も分かりません。

福井に住むのは、とてもいい経験だと思います。世界中に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で様々な難しいチャレンジが出てきました。しかし、どんなに困難なチャレンジがあっても、みんなで前に進みましょう！



最後に東京駅に行ったグループ

福井を楽しむ一私の場合



Wan Mohamad Amirul Bin Wan Mohamad Yusoff (Malaysia)

工学部 機械システム工学科

私は2017に来日しました。3年間鯖江市にある福井工業高等専門学校で勉強して、2020年の4月に福井大学に編入しました。福井は日本の北陸に所在し、日本海にも近いのです。日本に来る前に、福井のことは全然知りませんでした。ほぼ4年間福井の暮らしを経験してから、福井はとても住みやすい所だと思います。

日本はマレーシアと違って、季節がある国です。季節によって、様々なイベントや祭りを楽しむことができます。春と言われたら、桜や花見という言葉が頭の中に思いつきます。私は毎年、鯖江市にある西山公園か福井市にある足羽山公園で花見をします。マレーシアの留学生は花見をしながら、新入生の歓迎会を行います。



この花見のイベントは美しい桜を見ることができて、この機会をとらえて、後輩たちに日本の楽しいところを見せることもできます。

夏のとき、私はいつも若狭和田ビーチに行きます。福井からだいたい2時間ぐらいかかりますが、友達と一緒に車で行って、その途中の景色をみることで長くは感じません。あそこで、泳いだり、バレーボールをしたり、バーベキューをしたりします。また、夜にみんなと一緒に花火をして楽しめます。しかし、去年





はコロナの影響で、若狭和田ビーチに行けなくなりましたので、その代わりに大野にある滝に行きました。

秋に入ると、紅葉を見に行きます。花見のときと同様で、マレーシアの留学生はみんな料理を作って、紅葉のところに集まって、心地よい景色を見ながら母国の料理を食べます。そして、食べ終わっ



てから、みんなと集合写真を撮ります。去年は福井県総合グリーンセンターで紅葉を見ました。福井県総合グリーンセンターはとても広くて、サッカーやバドミントンをやっている人もいました。私達はその広い場所を使って、アルティメットをやりました。



マレーシアでは一年中蒸し暑いので、10℃以下の寒さを感じることがありません。日本に初めて来たとき、福井の冬はとても寒いと感じました。4年間が経って、私は福井の寒さにだんだん慣れて来て、その寒い冬の間にいろいろなことを経験しました。私は毎年スノーボードを楽しんでいます。友達と一緒にスキージャンプ勝山に行って、一日中スノーボードをやります。初めてスノーボードをやったときは難しかったですが、先輩が指導してくれてだんだん滑れるようになりました。



友達と一緒に滑りながら、山の真っ白い景色を見るのがとても楽しいのです。

年始の1月ぐらいに卒業生の送別会が行われます。このイベントは私にとって、一番悲しいイベントです。いろいろなことを一緒に楽しんでいた先輩たちが大学を卒業して、それぞれが決めた進路に進みます。福井には楽しいところとイベントがたくさんあります。自分1人で楽しむこともできますが、友達と一緒に経験すると更に楽しむことができますと思います。



留学生会長として



Liao Xiuheng (廖修珩 China)

工学部 機械・システム工学科

福井大学留学生会長リョウ シュウゴと申します。コロナ禍で、留学生達が帰国できない状況になっていたの、留学生会長として非常に残念だと思います。留学生として、一人暮らしや留学など、実家から離れた場所で生活を始めるとホームシックになってしまう人がたくさんいます。家族や友達から離れてしまったことで、不安や心配などのマイナスの感情が押し寄せ、それがストレスとなります。「人間は社会的な動物である」という表現があるように、人間は一人だけでは生きていけない生き物です。特に、海外にいる留学生達は、エンターテイメントがなくて、必ず寂しくなるだろうと思います。新しい学校や職場ではうまく馴染めるか不安かもしれませんが、勇気をもって声をかけることで、友達づくりをした方が良いかもしれません。学友会のイベントで、話をしてみると意外と気が合って、何年来の親友のように気の置けない友人になれるかもしれません。そうした友人を作ることが、孤独や寂しさなどを解決する対処法になるでしょう。それで、みんなが元気を出せるように、私も何回も活動を開催したかったのですが、県内のコロナ感染者が増えてきたため、活動がキャンセルになりました。一回だけボウリング大会を開催しましたが、日中友好協会の5人の方々も参加して楽しく行いました。参加者みんなが元気になっていたの、私も何よりも嬉しかったです。



福井の大雪



その他、去年の2月からコロナ禍になって、大学生の授業方式も変わりました。それで、新型コロナウイルス感染症対策もあり、オンライン授業が全国的に展開されるようになり、大学では、ほとんどの授業がオンライン化されて、学生は自宅で授業を受けるようになりました。オンライン授業は良い点もあれば、悪い点も存在しています。例えば、学校に行かなくても、授業が受けられることで、往復の時間を別のことに使うことができます。その一方、自立性を持たない学生が授業を受けず、単位を取れなくなる場合が多くなってきています。

2018年に福井大学を受験した時、2月の頃に、大雪を一回体験したことがありますが、今年の1月に再び体験しました。福井で色々なことを経験し、この四年間は、私の人生の決して忘れられない思い出になるだろうと思います。

最後に、自分の任務ですが、留学生会長として、コロナ禍で、大学祭などのイベントを開催できなくて非常に残念でしたが、これからの残り半年間の会長任期中に、自分の学業と任務を両立できるように積極的に取り組んでいきたいと思っています。

ベトナムの紹介



Nguyen Thi Dung (Vietnam)

工学研究科 安全社会基盤工学専攻

I am very happy to introduce you to our country. Vietnam is a beautiful S-shaped country with

appealing scenic beauty and the richness of its culture. It is also the land of smiles, warm hospitality, and generosity, where you can experience many interesting and different things.

If you intend to travel to Vietnam, famous places such as Hanoi capital, Halong Bay, Da Nang city or Sa Pa are the must-visit destinations.

Hanoi capital is an ancient city with a strong national history. The old quarters and over 600 pagodas and temples are still maintained.

Besides the romantic and poetic scenes, Hanoi also has many famous and particularly attractive street foods such as: "Pho", "Bun Cha", "Goi Cuon" or "Nem ran".



Halong Bay is one of the great natural wonders of Asia. It is recognized as one of seven new world heritage sites by UNESCO with over 1600 islands and islets. Come to Halong, besides immersing yourselves in her natural beauty, tourists can have an opportunity to savor delicious seafood as well as relax with water sports such as swimming, scuba diving, water skiing...



Da Nang is known as the most livable city in Vietnam, where has many beautiful beaches with clear water and long white sand. Moreover, Da Nang is famous for impressively designed bridges. Golden Bridge is seen as a bridge that has the most unique architectural style with a contrast between the elegant curve and the giant hands holding the bridge.



In addition, Vietnam is a nation of 54 ethnic groups and has a colorful culture with various traditional customs. A feature in Vietnam's culture is "Ao dai", which is the famous traditional dress of Vietnam. It has a gentle and charming appearance. It is also the most favorite dress of Vietnamese women in traditional festivals or special occasions.

My life at Tsuruga was full of novel and interesting things. Tsuruga is a small city, quite quiet and peaceful. I like that. I'm an introvert so I prefer tranquility over bustle and crowd. I feel life here is simple and comfortable. Tsuruga has ancient temples, I sometimes go to the temple to pray for health and luck in life. I have been living here for one year so I spent four seasons, spring, summer, autumn, and winter. I like the winter the best because the winter has snow. For me, the snow is very beautiful and romantic. I also like autumn with red leaves and spring with cherry blossoms. In the summer, I like to go to the beaches to relax and enjoy the sunset.





Here, I have only a little problem with food. Because I am not good at Japanese, I sometimes bought the wrong food. A lot of food I can not eat so I miss Vietnamese food so much. Unfortunately, there were not any Vietnamese food stores in Tsuruga. So I often have to buy Vietnamese food from stores in other cities.

However, what is most important when I live here is that I have wonderful friends. They are very kind, friendly and always ready to help me. So I can live completely comfortably with no worries. I feel that my time here has been great.

Thank you very much!

福井の冬



**Petemoya Yves Clinton (Democratic Republic of the Congo
(formerly Zaire))**

工学部 建築・都市環境工学科

コンゴ民主共和国に生まれ育った私は、冬という季節は全く知りませんでした。もちろん、テレビで他の国の冬を見るたびにきれいで、私も冬を楽しみたいという気持ちがありました。コンゴは日本と違って、乾季と雨季しかありません。コンゴの乾季は2か月しかありません。乾季の時に少し温度が下がりますが、空気がとても乾いています。いつもは安く売られている野菜や果物も、この短い乾季には値段が上がります。一方、コンゴの雨季は10か月もあり、暑くて雨もよく降ります。雨が降ることで植物もよく育ちます。美味しい果物や野菜を食べたいなら、雨季が一番いい時期だと思います。このように、コンゴでは、高い山の頂上以外雪



というものは全然見られないので、冬のある国に行きたがっているコンゴ人は大勢います。では、なぜコンゴ人は冬が好きなのでしょう。それは、冬の時に色々楽しそうな

ことができるというイメージがあるからです。私も来日する前に一番楽しみにしていたのは冬だと言っても過言ではありません。2018年に来日して、やっと冬遊びができると思っていました。しかし、残念ながら、神戸に住んでいたので、一年半の間に一回も雪が降らず、雪遊びも出来ませんでした。だから、もっと日本の北の方に行きたい、雪を見たいという気持ちが前よりも大きくなっていきました。福井大学に進学することが決まった時に、やっと冬の遊びができると強く思っていました。去年の12月に初雪が降った時に、喜びのあまりいっぱい写真を撮ったり、友達と雪合戦をしたりしました。もち



ろん、その時は楽しかったです。しかし、日が経つにつれて、もっと雪が降り積もりました。気温もすごく下がり、歩く道さえ埋まってしまいました。悲しいことに、どうやって大雪に備えるか知らなかった私は、家の中に食べ物もなく、暖房も壊れた状態で大雪を過ごしました。3日間の大雪がやんだ時に、なんとかスーパーへ行けるようになりましたが、牛乳や肉、魚、ジュース、卵など何もありませんでした。ずっと楽しみにしていた冬が嫌になりました。アルバイトにもいかなければならなかったですが、自転車で雪の中は走れません。本当にこれ以上雪が欲しくない、暑い母国に帰りたいという気持ちにもなりました。今は、冬と

いったら、楽しい季節ではなく、雪かきもしなければならぬし、移動もしにくくなるし、面倒がいっぱいの季節だということが思い浮かびます。来年の冬は同じような大変なことにならないように今年の10月から、大雪に備えることに決めました。



Song XuanGuang (宋烜光 China)

工学部 応用物理学科

これは、中国人として、誰でも知っている料理です。

トマトと卵炒め

1. トマトは半分に切り、ヘタを取り除いて 8 等分のくし切りにします。
2. ボウルに卵を溶きほぐし、1 を加えて混ぜ合わせます。
3. 中火で熱したフライパンにサラダ油をひき、卵を流し入れ、菜箸で大きく混ぜ、半熟状になったら一度取り出します。
4. フライパンの余分な油を拭き取り、中火で熱し、1 を入れて炒めます。トマトがしんなりしたら 3 を戻し入れます。
5. 塩、粗挽き黒こしょうを入れて炒め合わせ、全体に味がなじみ、卵に火が通ったら火から下ろします。
6. 器に盛り付け、小ねぎを散らして完成です



図 3: トマトと卵炒め

Greeting in Cambodia



Im Sorida (Cambodia)

工学研究科 安全社会基盤工学専攻

When it comes to greeting, what comes up to our might first might be “handshake”, or “bow” for those who are familiar with Japanese or Korean culture. However, in Cambodia, we do it differently. Can you guess how Cambodians greet each other? Today, I'm pleased to share with all of you a little bit about it.

In Cambodia, we greet people by putting our palms together, place them in front of our body then say the greeting word “ជំរាបសួរ(jom reap sour)”. Another important thing we have to be careful of when greeting someone is the level of our palms that place in front of us. Why? Because the level of our palms place in front of us vary based on the status of our partner (the one we are doing the greeting towards). There are in total 5 levels of them:

At chest level



When we greet someone who is the same age or younger than us, we put our palms together at our chest level.

At lips level



When we greet someone older than us or someone with a higher rank than us, we put our palms together at our lips level.



At nose level



When we greet our parents, grandparents or teachers, we put our palms together at our nose level.

At eyebrows level



When we greet the king or monk we put our palms together at the eyebrows level.

At forehead level



When we greet Buddha, we put our palms together at our forehead level.

Have you tried doing the Cambodian style's greeting? Did you notice something? Well, the higher the hands and lower the bow, the more respect is shown towards our partner.

I hope you enjoy learning about Cambodian's greeting and let's try it out when you meet a Cambodian! I bet they will be surprised!

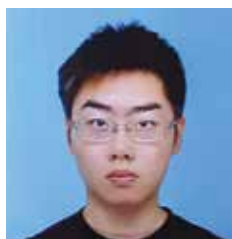
生活雑感



Zhao YuPeng (趙宇鵬 China)

工学部 物質・生命化学科

コロナの間に、ずっと家にいますので、運動不足になりました。解決策を考えた結果、人が割と少ないジムに行き、筋トレなどをするようにしました。週5回以上、運動することで、体調回復や気分転換をしています。



Yang DiXin (楊迪昕 China)

工学部 電気電子情報工学科

趙さんと国際課が開催した無料イベントで、白山博物館や勝山に遊びにまいりました。勝山のスキー場で半日遊び、初心者の方にとって、非常に素晴らしい経験になりました。上手とは言えませんが、雪と山の風景を眺めることも楽しいのではないかと思います。



スキー場



Bao ZhongShan (鮑中山 China)

工学研究科 知識社会基礎工学専攻

コロナ禍のオンライン授業で、逆に助かったことは、学校へ行かなくても、授業が受けられることで、それは寒い冬に特に助かったことです。オンラインミーティングなどが日本に流行し、将来就活も遠隔で参加できるから、

期待しています。



Shi Zhiguang (石智広 China)

工学部 電気電子情報工学科

一年間の福井での生活はコロナ禍で、あまり楽しくないですが、福大のイベントで、福井県各地を旅行ができましたので、福井の魅力を感じました。一番印象深いのは、芝政ワールドというところです。これからの2年間も色々

楽しみにしています。

私の就活



Xu Shiyu (徐世雨 China)

工学研究科 機械工学専攻

2019年8月から私の就職活動は始まりました。福井大学キャリア支援課から夏休みに企業のインターンシップがあることを知りました。企業の2週間インターンシップに申し込んで不合格になりましたが、日本の就職活動について、エントリー、SPI試験と面接というステップを理解しました。そして、12月に3社の1日間のインターンシップに参加しました。その間に、企業研究と自己分析についてよく考えました。2020年1月と2月に福井大学で興味を持っている企業のOB・OG訪問で生の情報を得ました。その時、機械工学就職担当の天津先生、川谷先生と相談して、第一志望として日産自動車の推薦応募を決めました。同時に、40以上の企業の情報を集めましたが、自分は就職できることに自信を持っていませんでした。3月に企業のホームページにエントリーして会社説明会に参加しました。福井大学キャリア支援課の職員さんにエントリーシートの添削と面談の練習の支援をいただきました。その後、様々な企業の面接を受けて面談技巧を鍛えて自信がつかしました。最後に、3社に合格できた経験の上で日産自動車の面接を受けて内定をもらうことができました。就職活動は、何から手をつけ、どのように展開するか、全体の流れを把握しておくことが大切です。直接、企業の社員に相談して生の情報を得て、自分の就活技巧を鍛えることが重要です。自らの可能性を常に高く、広く求めよう。

留学生在学状況



(2020年10月現在)

	学部生				大学院生				研究生／特別聴講学生				合計
	教	医	工	国	教修	医博	工修	工博	教	医	工	国	
バングラデシュ								2			1		3
カメルーン							1						1
カンボジア			3				3		1				7
中国			8	1	3		29	14	1		2	1	59
コンゴ民主共和国			1										1
エジプト								1					1
フランス								1					1
インドネシア					1		2	1					4
韓国			4										4
マレーシア			33	2			2		2				39
メキシコ									1				1
モンゴル								2					2
ミャンマー									1				1
フィリピン					1			1					2
ポーランド									1				1
台湾					1		1	1					3
タイ							1	1				1	3
トルクメニスタン				1									1
ウズベキスタン							1						1
ベトナム							1						1
合計	0	0	51	2	6	0	41	24	7	0	3	2	136
							65						
	53				71				12				

地域社会との交流活動

Local Community Exchange Activities



200718 FCIA 浴衣で養浩館ウオーク1



200725 FCIA シャベリ場



200808 FCIA シャベリ場



200822 FCIA 浴衣で養浩館ウオーク2



201025 FIA 福井国際フェスティバル



201115 FCIA シャベリ場



201128 FCIA しゃべり場



201130 足羽高校国際理解学習講座



201130 足羽高校国際理解学習講座



201130 足羽高校国際理解学習講座



201213 FCIA しゃべり場



210123 FCIA しゃべり場



210221 FCIA 書き初め体験



210227 FCIA しゃべり場



210227 FCIA しゃべり場



210306 FIA 災害時外国人支援セミナー



210306 FIA 災害時外国人支援セミナー



210306 FIA 災害時外国人支援セミナー

学内交流活動 On Campus Activities



20210122 越前筆筒・ペン立て制作



20210122 越前筆筒・ペン立て制作



20210122 越前筆筒・ペン立て制作



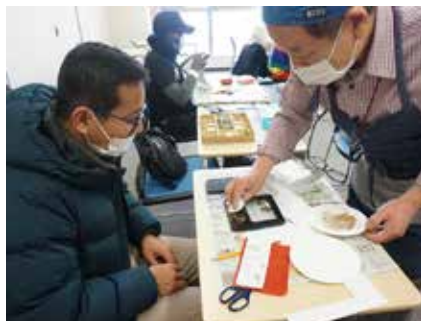
20210122 越前筆筒・ペン立て制作



20210122 越前筆筒・ペン立て制作



20210122 越前筆筒・ペン立て制作



20210212 越前漆器絵付体験



20210212 越前漆器絵付体験



20210212 越前漆器絵付体験



20210212 越前漆器絵付体験



20210212 越前漆器絵付体験



20210212 越前漆器絵付体験



20210304 福井県陶芸館



20210304 福井県陶芸館



20210304 福井県陶芸館



20210304 福井県陶芸館



20210304 福井県陶芸館



20210304 福井県陶芸館



210310 越前和紙の里



210310 越前和紙の里



210310 越前和紙の里



210310 越前和紙の里



210310 越前和紙の里



210310 越前和紙の里



210318 タケフナイフビレッジ



210318 タケフナイフビレッジ



210318 タケフナイフビレッジ



210318 タケフナイフビレッジ



210318 タケフナイフビレッジ



210318 タケフナイフビレッジ



210323 学位記授与式



210323 学位記授与式



210323 学位記授与式



210323 学位記授与式



210323 学位記授与式



210323 学位記授与式

表紙デザイン

Muhammad Ilmi Bin Tajudin (Malaysia)

工学部 電気電子情報工学科

Hello! My name is ILMI and I am from Malaysia. I have been studying at University of Fukui since 2019 as a transfer student and this is my fifth year studying in Japan. I am very honored to be part of Kokoronet magazine. I chose "The Colors of Culture" as the theme of the cover design. The Covid-19 pandemic has reminded us how interdependent we are: what happens to one person can soon affect many others, even on the far side of our planet. The problem is how can we stay connected when we are being encouraged to distance from one another? One way for staying engaged and connecting with others is to learn and exchange stories about cultures. Millions of people already depend on social media sites such as Facebook, Instagram and Twitter to connect with people throughout the world. We can communicate with people, learn and share ideas about different cultures. It also reminds us of our common humanity and connectedness. Maybe this is an opportunity to think about how to connect with others matter more and provide more meaning in our lives than we realized. Thank you!





編集後記

今年度は、コロナ禍の影響で学内、学外共に交流活動の大半が中止となり、感染防止への緊張感が続く厳しい状況下での2021春号の発行となりました。オンライン授業が続き、交換留学生の受入も3学期連続で中止が続いているため、例年よりも更に原稿執筆協力者が少なく大変でした。そんな中で編集委員の皆さんには、ご協力ありがとうございました。福井大学留学生のネットワークを絶やさないよう、今後も発行を続けていきますので、卒業生の皆さんも、近況報告などと共に写真やメッセージをどんどんお送りください。ご協力よろしくお願いいたします。

編集委員

Bao Zhongshan,
Liao Xiuheng,
Nguyen Thi Dung,
Petemoya Yves Clinton,
Song Xuanguang,
Xu Shiyu,
Zhao Yupeng,

Im Sorida,
Muhammad Ilmi Bin Tajudin,
Nurin Amira Binti Ahmad Remy,
Shi Zhiguang,
Wan Mohamad Amirul Bin Wan Mohamad Yusoff
Yang Dixin,
Yoshinobu Torao

福井大学国際センターネットワーク誌「こころねっと」2021年春号
2021年3月31日発行

発行 福井大学国際センター

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
International Center, University of Fukui
3-9-1, Bunkyo, Fukui 910-8507, Japan
TEL.0776-27-8903 FAX.0776-27-8903
E-mail inbound@ml.u-fukui.ac.jp
<https://www.u-fukui.ac.jp/international/>

안녕하세요
 ANNyeongHASEYO
 Hello!

